

いばコミ

令和6年1月発行 第23号
 国臨協関信支部茨城地区会
 発行責任者 山田 晶 (水戸)
 編集 守屋 任 (茨城東)
 篠田 菜月 (霞ヶ浦)



第51回
 国臨協関信支部学会
 茨城地区会ポスター

テーマ
 「茨城地区会員が選ぶ
 茨城地区のおススメ
 スポット」



皆様ご協力いただき
 ありがとうございました

事務局だより

本年度、事務局長を務めさせていただいております茨城東病院の守屋です。令和5年6月3日(土)に予定されておりました第44回国臨協関信支部茨城地区会の定期総会は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更され久しぶりの集合型開催を予定しておりましたが、まさかの荒天により急遽中止となりました。そのため、書面表決による決議とはなりましたが、令和5年度の事業方針、役員が承認され、令和5年度国臨協関信支部茨城地区会が開始となりました。本年度の理事会につきましては、昨年度までのWeb会議が地理的に離れている施設間で会議を行う上で、労力と経費の軽減(主に労力)に非常に有効であったことを受けて引き続きWeb会議で開催しました。また、昨年度の事務局事業方針案で可決された施設間連絡はメールなどを使用し情報共有する方針に従い各施設役員の負担を軽減しスムーズな会務運営に努めております。

令和5年度茨城地区会の活動といたしましては、8月1日に前島臨床検査専門職による御講演の学術研修会を開催し、令和5年9月2日開催の第51回関信支部記念学会の地区会コーナーでは、茨城の魅力度アップに向けて県北から県南まで幅広くおすすめスポットを紹介したポスターを掲載いたしました。残念ながら入賞することは叶わず、2023年茨城県の魅力度ランキングも最下位の座に返り咲いてしまいましたが、各施設のご協力に深く感謝申し上げます。また、本年度は新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことを受けて集合型のレクリエーション等の再開を検討しているところですが、感染症法上の変更とは関係なく新型コロナウイルス感染症の一時的なアウトブレイクやコロナ禍で息をひそめていたインフルエンザの大流行などのネガティブな状況も続いているため、執行部として各施設の状況を考慮しつつ、茨城地区会会員の皆様の親睦が図れる機会を作れるよう会務を進めてまいります。今後とも茨城地区会が意義高い活動ができるようご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

令和5年度国臨協関信支部茨城地区会

会 長	山田 晶 (水戸)
事 務 局 長	守屋 任 (茨城東)
理 事	小林 伸彦 (水戸)
理 事	篠田 菜月 (霞ヶ浦)
理 事	橋本 花保 (茨城東)
精度管理委員	角野 友哉 (水戸)
精度管理委員	宇都木 健 (霞ヶ浦)
精度管理委員	福岡 佑基 (茨城東)



新 会 員 紹 介

水戸医療センター 山田 晶



令和5年4月1日付けで、甲斐国の名将である武田信玄公をお祀りしている武田神社に程近い甲府病院から配置換えで赴任してまいりました山田 晶（やまだ あきら）と申します。水戸医療センターで9施設目（重複あり）の異動で茨城地区会は初めてとなります。出身は東京（生まれは目黒区、育ちは練馬区）で、結婚後は柏に世帯を構え、現在は単身赴任しております。高速道路を使えばドア to ドアで自宅より1時間ほどで病院には到着いたしますので、気軽に自宅に帰れる環境です。茨城県水戸市は、中心部を離れれば自然豊かで多数の湖や沼、野池があります。何を隠そう（別に隠してないが）私は幼少期から釣りが好きで、特にルアーによるブラックバス（以下バス）をターゲットにした釣りを好んでいます。バスは、特定外来生物に指定されており、その飼育、運搬、保管等が禁止されています。違反した場合には法律によって罰せられと・・・悪名高い魚類では有名ですね。バスの扱いについて法的な規制がされましたが、バスを釣ることは禁止されているわけではありません。あまり知られていませんが、キャッチアンドリリースについても条例・漁業調整規則等で禁止をしている県は多くありません。茨城県もキャッチアンドリリースは禁止されておらず、釣りが出来る沼や野池をグーグルマップで探しながら楽しんでおります。また、冬は管理釣

り場に、ニジマスなどの鱒類をターゲットに釣りをしています。管理釣り場とは、区切られた川の一定の区間や、人工的に作った池などに魚が放流されている釣り場のことを指します。いわゆる‘釣り堀’、こちらもルアーを使用しますが、管理釣り場と侮るなかれ、ただ投げていると釣れるほど甘くなく、1日投げ続け釣果1匹など当たり前の世界です。その日の気温や水温、風向きを考えながら、ライン（釣り糸）の種類や太さをきめ、使うルアーも0.1グラム単位で変え、魚がスレ（警戒）ないようにカラーローテーションする繊細な釣りです。時間が許せば週末は釣り三昧ですので、よろしければご一緒しましょう。

異動してからは、水戸医療のスタッフの方々に快く迎えてくださり感謝しております。今後は水戸医療の面々と微力ながら茨城地区会を盛り上げていければと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

水戸医療センター 角野 友哉



4月に精神・神経医療研究センターから水戸医療センターへ主任として赴任いたしました角野友哉と申します。前施設では検体検査と生理検査に携わっており水戸医療センターでも生理検査を担当させていただいています。神経疾患や精神疾患などの慢性期中心の病院から3次救急まで行っている病院に赴任し、前施設との違いに驚いています。水戸医療センターでは現在 ISO 15189 の取得を目標としており、前施設で ISO 15189 を取得した経験を活かしていきたいと思っております。ISO 15189 では標準化という部分に重きを置いており、誰が

検査を行っても同様の検査を行えるようマニュアルや教育を整備します。そのためにさまざまな準備を行う必要があります。非常に大変なことです。が実際に行ってみると必要なことであると理解でき、インシデントなどのリスク低減に繋がるため有用であります。今後、水戸医療センターの一員として ISO 取得に向けて邁進したいと思います。

4 月に異動してきて茨城は自然豊かで食べ物も美味しいところだと思いました。先日、観光も兼ねて日立市にある大岩山に登ってきましたが、緑豊かでリフレッシュすることが出来ました。帰りに道の駅の直売所で旬の野菜や果物を買って満喫することができました。

私の趣味は野球観戦です。昔から西武ライオンズのファンでよく西武ドームに野球観戦に足を運んでおります。ビールを片手に現地で応援するのはテレビで観戦するのとは違った楽しさがあります。

今年から主任となりましたが経験や力量が足りていなく、まだまだ未熟です。皆様にはご迷惑をおかけすることもあると思いますが今後ともよろしくお願いいたします。

霞ヶ浦医療センター 白倉 聡



令和 5 年 4 月 1 日付で渋川医療センターから副臨床検査技師長として赴任した白倉 聡（しらくら さとし）と申します。

長野県上田市の出身ですが、現在は東京都三鷹市に住んでいます。住みたい街ランキング常連の吉祥寺が最寄り、都会過ぎず自然豊かでオシャレな街から毎日 2 時間半かけて、蓮根の街土浦まで通勤しています。

趣味はスポーツ観戦とスノーボードです。高校まで野球部だったこともあり野球観戦はもちろんのこと、自宅から味の素スタジアムが近いため、家から応援チームのユニフォームを着て自転車でサッカー観戦にも行きます。また、雪国育ちという事もありスノーボード歴は結構長く、若い頃はキッカー（ジャンプ台）やレールなどをガンガン攻めていました。そろそろ控えめに滑ろうかと思っていますが、今でも滑りに行くとなつていついキッカーを飛んだりバックカントリーを攻め込んだりしてしまいます。

職歴は、民間病院で 10 数年勤務した後、国立国際医療研究センター病院に入職しました。国立病院歴は 8 年目で、霞ヶ浦医療センターが 3 施設目になります。民間病院からずっと生理検査がメインでしたが、国際医療研究センター病院で念願だった救急に従事できたのは、非常に良い経験になりました。重症患者が立て続けに搬送されてくる戦場のような現場の中で、CT や血液検査よりも先にエコーで診断がついたり、心肺蘇生している最中にエコーで原因検索をしたり・・・と救命救急という限られた時間の中で、自分の検査が診断に直結するという醍醐味は今でも忘れられません。2 施設目の渋川医療センターを経て、霞ヶ浦医療センターでは初の副技師長業務となります。管理職業務は右も左も分からぬ状況でしたが、前島技師長のご指導のお陰で少しずつ流れを掴んできたように思います。まだまだ不慣れでご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、今後とも御指導の程、宜しくお願いします。



霞ヶ浦医療センター 木津谷 亮



令和5年4月1日付で甲府病院から参りました木津谷 亮（きつや あきら）と申します。

国立千葉病院（現千葉医療センター）で賃金職員として3年半、下志津病院で正職員となり4年半、相模原病院に異動で6年、甲府病院に昇任で9年勤務し、現在の霞ヶ浦医療センターに異動となりました。現在は検体検査部門に配属され、転勤前から噂に聞いていた地獄の階段昇降によって半年で5キロ痩せました。しかし仕事にも少し慣れてきたのか、今は体重もすっかり元通りです。

茨城県での勤務は初めてとなりますが、以前から夏には大洗海岸へ遊びに行ったり、結城市でキャンプしたりと比較的馴染みのある土地です。県内で行ったことのないのは北茨城市ですが、きっと「いばこみ第23号」が発行されるときには制覇していると思います。

趣味はパワーリフティングをやっています。よくウェイトリフティングと混同されますが、ベンチプレス、スクワット、デッドリフトの3種目合計重量を競う競技です。たまたま家の近所に専門のジムがあったことがきっかけで始めた競技ですが、今では週5～6でジムにいくこともあるくらいになってしまいました。今年度の成績は山梨県パワーリフティング大会 93 kg級で1位、つくば市民ベンチプレス大会 83kg 超級で3位を記録することができました。次年度は記録が更新できるように頑張ります。もし興味のある方は是非ご一報を。

最後になりますが、仕事もプライベートも精進して参りますので、皆さまのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



茨城東病院 守屋 任



2023年4月1日付でNHO 茨城東病院 副臨床検査技師長に着任いたしました守屋 任（もりや あたる）と申します。私は2002年に旧国立栃木病院に非常勤として採用され、2003年に現在の勤務施設であるNHO 茨城東病院（旧国立晴嵐荘病院）に入職しました。茨城東病院では9年間微生物検査を担当し、2012年にNHO 災害医療センターで主任臨床検査技師として昇任し、その後、日本医療研究開発機構（AMED）に2年間出向した後に、国立国際医療研究センター病院に4年間勤務して現在に至ります。NHO 茨城東病院は二度目の勤務となりますが、医師や看護師、その他コメディカルや事務の方々など、旧知の方が多く在職されていて、初めて経験する副臨床検査技師長業務を行う上でとても働きや

すい環境です。

プライベートについても二度目の東海村生活で住みやすい地区もわかっていたため、転勤の内示をいただいた翌日には住居を決めることができました。久しぶりの東海村生活をはじめのために自動車も必要となったため、内示後に急いで購入しましたが、購入して二か月目、ゲリラ豪雨によりまさかの車両水没全損廃車に陥りました。東海村新生活はお財布に激しく冷たいスタートとなりました。今年は何とか金運があがることを願いつつ検査業務に邁進したいと思います。ちなみに、私の車が水没した場所には、その後、雨天時走行注意の看板が新設されました。私の犠牲により立てられた看板を東海村にお立ち寄りの際にはぜひ見物してってください。

(東海村舟石川駅西3丁目6-19交差点)

茨城東病院 石川 遼



令和5年4月1日付けで茨城東病院に配属になりました石川 遼(いしかわ りょう)と申します。

出身は茨城県の古河市です。古河市は茨城県の西の端に位置しており、茨城県よりも埼玉県や栃木県とのつながりが強いところですが、茨城県の出身ではあります。県内の名所などは小学校の遠足でしか行ったことがないほどです。病院の所在地である東海村にももちろん訪れたことがなかったので、どんなところだろうと配属の際には少しワクワクしていたのを覚えています。実際に住んでみると、静かで住みやすいところではありましたが、車がないと若干不便ということがわかりました。せっかくの機会なので今まで行ったこと

のない茨城の名所めぐりなどをしてみようととも考えていますが、最近のガソリン代高騰には頭を抱えています。

趣味はスポーツ観戦で主にプロ野球を見ることが好きです。実家に住んでいた時には年に数回ほど球場に足を運んでいましたが、東海村からは遠いこともあり、今年は行くことができませんでした。来年こそは時間を作って行こうと思います。

茨城東病院では検体検査を担当しています。生化学、免疫、一般、血液、輸血検査をすべて見なくてはならないため、覚えることが多く毎日が苦労の連続です。しかし、ここで得た知識や経験はこの先必ず自分の力となるので、精一杯仕事に取り組んでいきたいと思っています。

至らないところも多々あるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

茨城東病院 伊勢谷 洋平



令和5年5月より茨城東病院に非常勤職員として採用となりました。伊勢谷 洋平(いせや ようへい)と申します。

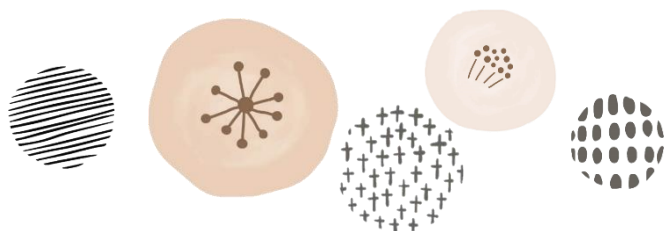
出身は千葉県ですが茨城県内の大学に通っていたこともあり茨城県とは不思議な縁があると感じています。現在は東海村で一人暮らしをしています。生まれて初めての一人暮らしのため中々苦労が堪えません。

茨城東病院に入職して半年ほどが経ちましたが、まだまだ知らないことばかりで大学で勉強したことだけでは足りていないことを痛感しました。入職当初は、緊張と

不安でうまくいかないことが多かったのですが、諸先輩方のご指導のおかげで少しずつ仕事にも慣れてきました。現在は検体検査と採血、肺機能検査を担当しています。検体検査では具体的に生化学検査、一般検査、血液検査、輸血検査があるためより多くの検査を経験することができており検査技師として少しずつではありますが、成長できているのではないかと感じております。

趣味は野球観戦と読書です。特にヤクルトスワローズと地元の球団である千葉ロッテには熱を入れて応援しています。いつしかこの2球団での日本シリーズが見たいなどと思っています。読書についてですが、最近大学の友人に今まで読んだことのなかった伊坂幸太郎を勧められて1冊読んでみたのですが、凄く面白くハマってしまいました。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症も少しずつ緩和されてきている中で、他施設の技師の皆様と交流させていただく機会が増えていくと思いますので、その際はご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



会 員 の 声

水戸医療センター 本橋 和樹

水戸医療センターの基本理念が「私たちは地域の人々より信頼されるよう日々研鑽し、安全で良質な医療を提供します」と掲げており、「医療連携を強化し地域医療に貢献する」が、基本方針の中の1つに盛り込まれています。広報活動を通じ地域連携の一環として11月5日(日)に開催された「いばらきまつり2023」に参加いたしました。いばらきまつりは、茨城町で1990年から開催されている地域のふれあいを目的としたイベントです。ご当地感たっぷりの屋台とフィナーレの花火が圧巻で、例年、20000人以上の来場があるそうです。水戸医療センターは各職種に応じた健康相談および測定ブースを開設し、臨床検査科は骨密度測定による骨年齢診断を担当しました。骨密度測定は、当院検査科で実施している超音波を用いた測定機を使用しました。開始時間前から多くの来場者が列をなして並んでいただき、年齢的にはシニア世代(60歳以上)が中心で、1日で100件以上の測定を行ないました。測定してみると実年齢よりも上の診断結果が多く、驚かれている方々が多かったように思います。結果を聞いて「え？牛乳を飲んだ方がいいかしら？」など食生活が気になっている人がいたらここぞとばかりに隣で待機している栄養士に案内するのが私たちの役目です。この黄金パターンにより多くの方に来場していただき大盛況のもと終えることができました。検査も無料ということもありますが、コロナ窩を経験し各人が健康により一層注意していることが伺えました。唯一の心残りはお昼休みには梅里豚の鉄板焼きなど地元の名産品があるにもかかわらずおいに誘われケバブを食べてしまったことです。

冗談はさておき・・・

イベントを通して地域の方々と交流を深めることができ、水戸医療センターの魅力をアピールすることができましたので、今後もこのような活動があれば積極的に参加していきたいと思いました。

今回をきっかけに来場者の方々が少しでも水戸医療センターへ受診したいと思って頂けたら幸いです。

霞ヶ浦医療センター 宇都木 健

今年のリフレッシュ休暇で遊びに行った事について話したいと思います。妻ともうすぐ2歳になる娘を連れて一泊二日で那須高原へ行きました。

天候にも恵まれ、秋の季節を感じつつまず向かった先は、那須サファリパークです。娘も少しずつ言葉を覚えてきて、絵本を見せると「ゾウさん」や「キリン」など言うようになり、そろそろ動物園に連れて行こうと思い向かいました。

あまり下調べをせずに那須サファリパークへ向かったところ、園内を回るには、園内バス、レンタカー、マイカーの3通りで、値段が一番安いマイカーで回ることになりました。ちなみにマイカーは先月、納車されたばかりの新車です。サファリに入る入口で係員から「ライオンゾーンでは絶対に停車しないでください。ライオンがタイヤに噛みついてきます。あと他の動物たちも人慣れしているので気を付けてください」とのこと。恐怖を感じつつ音声タブレットを渡され、サファリへ入りました。

ライオンゾーンでは、ライオンは日陰で寝ているだけでしたが間近に見るライオンは迫力があり、娘も興奮していました。無事ライオンゾーンを抜け、ここからは草食動物がいるゾーンへ入って行きました。キリンやアルパカ、シマウマ、シカなどは、我々に恐れることなく向かってきます。娘は怖がってしまいずっと抱っこ。私と妻の方が興奮していました。おかげさまで車は動物たちの唾液だらけになりました。

その後ホテルへ到着し、ゆっくりする予定でしたが、食事はバイキングだったため娘の興味を惹くところが至る所にあり、娘が「あっち」「こっち」と指をさし、抱っこで連れていくことになり、ゆっくり食事をする余裕もありませんでした。

二日目は那須とうぶつ王国へ行きました。犬や猫と触れ合える所もあり、娘にとってはサファリパークよりも楽しんでたようで、とてもはしゃいでいました。

リフレッシュ休暇の最終日には大洗水族館にも行き、とても楽しい休暇となりました。



私事で大変恐縮ですが、2024 年 1 月に第一子が産まれる予定です。私と妻は妊娠が分かった時点で様々な制度を調べ、その中の一つに 2022 年 10 月に施行された新しい制度である産後パパ育休というものがあります。産後パパ育休制度とは、女性の産後 8 週間の期間のうち最長 4 週間分を 1 回または 2 回に分割して取得できる制度です。

私は、妻の妊娠がわかり、パパ育休制度の利用を考えましたが、仕事の兼ね合いで難しいだろうと考えていました。しかし、妻から「今は見えてないからわからないだろうけど、赤ちゃん産まれたら日々の成長が目で見られるようになって、その成長が見られる時間はその時しか見られないよ。」と言われ、私は産後パパ育休を取得しよう決めました。産後パパ育休を取得するために、安定期の一月前（妊娠 4 ヶ月頃）に技師長に妊娠報告と育休を取得したい旨を伝えさせていただきました。

男性の育休制度は始まったばかりで、取得件数は徐々に増加しているものの、依然低い状況のため、取得を躊躇う方も多いのではないかと思います。私も取得は難しいだろうと決めつけていた一人でしたが、前もって相談できたことで、育休取得に向けて検査科の皆さんが協力してくださり、取得することが出来そうです。

成長の早い赤ちゃんの時期に仕事を休ませていただき、育児に参加させていただけることに、この上ない感謝の気持ちでいっぱいです。赤ちゃんの時期にしか残せない思い出と写真を形にしてたくさん残したいと思います。



編集後記

今号では 7 名の新入会員の紹介と 3 名の方に会員の声の執筆をしていただきました。皆様ご協力ありがとうございました。

今年度は予定されていた総会が不運にも中止になってしまい、なかなか皆様と顔を合わせる機会がありませんが、このいばこミが会員の親睦を深める手助けになればと思います。

まだまだインフルエンザ等、油断ならない時期が続きますが、会員の皆様におかれましてはどうぞ ご自愛のほどお祈り申し上げます。

（記：篠田）

